

原料費調整制度に基づく2026年4月検針分のガス料金について

1. 2026年4月 検針分の料金表

(1) ガス小売供給約款契約料金表（秋田支社地区）

各月のご使用量に応じてAからDの各料金表が適用されます。

(税込)

	料金表A	料金表B	料金表C	料金表D
月間使用量(m ³)	0～7	7～24	24～490	490～
基本料金(円/月)	1,210.00	1,397.00	1,992.10	5,570.40
調整単位料金(円/m ³)	236.76	210.04	185.21	177.91
【参考】前月調整単位料金(円/m ³)	(223.00)	(196.28)	(171.45)	(164.15)

(2) 標準家庭における影響

(税込)

1か月のご使用量 [※]	2026年4月ガス料金	2026年3月ガス料金	差額
19m ³ (46.04655MJ)	5,387円	5,126円	261円

※1か月のご使用量については、2016年度から2020年度のご家庭1件当たり使用量の平均値です。

■標準家庭料金の計算方法

2026年4月ガス料金(円：税込)

$$\boxed{5,387} = \boxed{1,397.00} + \boxed{210.04} \times \boxed{19}$$

$$\boxed{210.04} = \boxed{218.72} + \boxed{\blacktriangle 2.68} - \boxed{6.00}$$

2. 原料価格の変動

(1) 原料価格の実績

(円/t)

算定期間	2025年11月から2026年1月	
平均原料価格	LPG	79,770
	LNG	85,940
		80,510 (a)

基準平均原料価格	83,460 (b)
----------	------------

差額 (a-b)	▲ 2,950
----------	---------

※LPG価格、LNG価格はともに貿易統計値

(2) 単位料金調整額の算定方法

■平均原料価格の算定

平均LPG価格(貿易統計値) $\boxed{79,770\text{円/t}} \times 0.0394$

平均LNG価格(貿易統計値) $\boxed{85,940\text{円/t}} \times 0.9003$

平均原料価格 $\boxed{80,510\text{円/t}}$ (10円未満四捨五入)

■原料価格変動額の算定

$$\boxed{80,510\text{円/t}} - \boxed{83,460\text{円/t}} = \boxed{\blacktriangle 2,900\text{円/t}} \text{ (100円未満切り捨て)}$$

■単位料金調整額 (m³あたり調整額) の算定

$$\text{単位料金調整額} = \boxed{\blacktriangle 2,900\text{円/t}} \div 100\text{円/t} \times 0.084\text{円} \times 1.10$$

$$= \boxed{\blacktriangle 2.68\text{円}} \text{ (小数点第3位以下切り上げ)}$$

■政府の支援反映後の単位料金調整額 (m³あたり調整額)

$$= \boxed{\blacktriangle 2.68\text{円}} - 6.00\text{円/m}^3 \text{ (支援単価)}$$

$$= \boxed{\blacktriangle 8.68\text{円}}$$

【参考】原料費調整制度の概要

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を毎月調整する制度です。
- 「基準平均原料価格(83,460円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円/tにつき、ガス1m³当たり0.084円(税抜)の単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動は貿易統計の実績によります。